

89. あいづかいどう ろくじゅうりごえ 会津街道—六十里越

選定箇所：穴沢、細野（三茶峠）、大倉沢、三湊沢、東中、下倉、田戸（新潟県魚沼市）

概要：魚沼地方と奥会津地方を結ぶ街道で、中世には軍用道路として利用された。近世になると、暮らしの道として日用雑貨類や綿布などが運ばれたほか、「越後縮」の原料として奥会津で生産された青苧が六十里越を通過して小出・堀之内に卸された。堀之内で三国街道と別れ、破間川沿いに上流へ向かい、大白川新田から浅草岳の南側鞍部を越えて福島県南会津郡只見町に通じる県境の峠道をいう。



【写真提供：魚沼市教育委員会】